

市長提案説明要旨

令和4年12月1日

本日ここに令和4年第4回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などの説明を申し上げます。

《はじめに》

<第101回全国高校サッカー選手権大会>

去る11月13日に第101回全国高校サッカー選手権大会茨城県大会の決勝戦が県立カシマサッカースタジアムにおいて開催され、鹿島学園高校が水戸啓明高校に1対0で勝利し、3年連続11回目の全国大会出場を果たしました。誠にめでとうございます。初戦は、12月29日に佐賀県代表の龍谷高校と対戦することに決まっております。全国大会では持てる力を十二分に発揮し、頂点を目指して勝ち上がっていくことを切に願っております。

<新型コロナウイルス感染症の情勢>

新型コロナウイルス感染症については、今年の夏に猛威を振るった第7波の感染拡大は全国的に一時ピークアウトしたものの、10月中旬以降は再び増加傾向を示し、11月中旬には1日当たりの新規感染者数が10万人を超える日も見られ、病床使用率が50%を超えた地域も発生しています。

岸田首相は、第8波について、「感染状況を注視し、国民の命や健康を守るために最善の努力をする。万全の態勢を用意したい。」と発言し、国では先月初め、第8波の到来に備えて2段階の対応強化策を決定し、都道府県が外出自粛を要請する「対策強化宣言」を新設したほか、医療がひっ迫しそうな場合は「医療非常事態宣言」を発令し、出勤の大幅抑制、帰省や旅行の自粛等を求めることとしました。

また、茨城県での感染者も同様の傾向を示し、11月下旬には新規感染者数が3千人を超えた日が確認されている状況となっています。そして先般、大井川知事は、「第8波に加え季節性インフルエンザとの同時流行も念頭に、発熱外来の拡充や、臨時の医療施設の設置等の対策を講じて対応に当たる。」と発表しました。

本市におきましても、引き続き市民の皆様に対しての情報提供とともに、感染予防対策の徹底を促していくほか、ウイズコロナに向け、感染拡大を抑制しながら社会経済活動との両立を図っていくための体制を構築してまいります。

感染収束のカギを握るワクチン接種の対応については、開始以来、鹿島医師会の松倉会長をはじめ、市内医療機関のご尽力のもと、各対象者に応じて順次接種を進

めてきております。

オミクロン株に対応した2価ワクチンについては、初回接種を完了した12歳以上の方を対象に10月から接種を開始し、11月15日現在、対象者の15%の方が接種し、12月中の予約をいただいている方も含めると、年末までに50%近くの方が接種を完了する見込みとなっております。

当初「5か月」であった接種間隔が「3か月」に短縮されたことに伴い、5回目接種の60歳以上の方なども含め、大幅に対象者が増加しましたが、これまでの市内医療機関での接種に加え、11月からは新たに大野ふれあいセンターとショッピングセンターチェリオにおいて、市の集団接種を開始し接種機会を確保いたしました。12月についても13日から22日まで、ショッピングセンターチェリオにおいて集団接種を実施しますので、ぜひご利用いただければと思います。

そのほか、5歳から11歳のお子さん、生後6か月から4歳のお子さんの接種も予約を受け付けております。

ワクチン接種により、感染予防や発症予防、重症化予防の効果が期待されておりますので、対象となる皆様には、ご自身のためはもちろん、ご家族や周りの方などのためにも、積極的な接種のご検討をお願いいたします。

<行財政改革>

私は今後の市財政に関し強い危機感を持ち市長に就任いたしました。現時点での財政事情は、歳入の根幹をなす市税収入が令和元年度をピークに明らかに減少しております。令和3年度一般会計決算におきましては、地方債残高は前年度から1億3千万円減少の174億円、財政調整基金は8千万円増加の18億円になるなど、改善しているように見える部分もありますが、財源を新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に振り替えたことやコロナ禍により事業を繰り越したことが主な理由であるため、一時的なものと考えております。

今後の財政見通しにつきましては、歳入では鹿島港が洋上風力発電設備の基地港湾として指定されたことにより、中長期的には期待されますが、一朝一夕に効果が現れる訳ではなく、その規模感も想定し難いことから、楽観的な見通しを持つことはできません。短期的に見ましても新型コロナウイルス感染症の影響や基幹産業の構造改革、さらには人口減少などにより、市税は緩やかに減少するものと見込んでいます。歳出においては、新型コロナウイルス感染症予防のための「新しい生活様式」への対応、新可燃ごみ処理施設の建設、少子超高齢社会の進展、公共施設の老朽化対策などの歳出増が見込まれております。

これらに対応し、市民サービスの向上に必要となる持続可能な財政運営をしていくために、まず、歳入確保策として、洋上風力をはじめとした次世代エネルギー関

連産業等による雇用の創出を図っていくとともに、短期的な取り組みとしてふるさと納税の事業拡充を図ってまいります。ふるさと納税の事業拡充については、令和5年度から本格的にスタートさせますが、現在、「ふるさと納税の推進に係るワーキングチーム」を立ち上げ、コンサルタントの指導を受けながら準備を進めているところです。歳出につきましても、既存事業を検証し、「無理・無駄・ムラ」をなくすことで事業を整理整頓し、事業の断捨離によって、「やめる・減らす・変える」を判断するなど、当初予算編成においてもゼロベースで再検討する中で財源を生み出し、取り組むべき行政課題の解決、市民サービスの向上につなげてまいります。

これまでも管理職を中心に私との意見交換を実施してまいりましたが、年明けには全管理職を対象に論理立てた政策の進め方、いわゆるロジックモデルの作成についての研修会を開催する予定です。今後、各種事業を展開していく際には、証拠や根拠を意味するエビデンスに基づいて企画立案し、その上で事業を展開していくことが大切であると考えております。私の目指すまちの姿として掲げさせていただいている「明るく、心豊かに暮らせる鹿嶋」の実現に向けても、これらの研修を通して得た知識を活用しながら、各種事業について丁寧な説明を行い、市民の皆様、議会の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。

社会経済情勢の複雑な変化や、多様化・高度化する市民ニーズを踏まえるとともに、私の施策の実現のために行政組織の改編を予定しております。

主な内容につきましては、まず、市長直轄の「DX・行革推進室」を創設します。市民の利便性の向上と行政の効率化を目指し、行政手続きのオンライン化をはじめ情報通信技術の利活用等による業務改革を行うとともに、私の施策であるNext鹿嶋「5本の柱」と称した主要目標の一つに位置付けている行財政改革を推進してまいります。

次に、政策企画部へ経済振興部で所管している港湾振興課を移管し、名称を港湾エネルギー振興課とするとともに、新たにスタジアム周辺整備推進室を創設します。

港湾エネルギー振興課については、再生可能エネルギーの導入促進を通じて、鹿嶋港を中心とする港湾地域全体のカーボンニュートラルポートの推進及び基地港湾を核とした洋上風力関連産業の拠点化を図るとともに、エネルギー分野を次世代の地域経済を支える新産業として捉え、臨海部における地域産業の活性化を図るための中心的な役割を担ってまいります。

スタジアム周辺整備推進室については、鹿島アントラーズによる「新スタジアム構想」が打ち出されて約1年が経過しましたが、新スタジアムが市内に整備されることを前提として、新スタジアムの整備支援及び周辺区域のまちづくりをアントラーズと共に取り組めるよう体制を整えてまいります。

また、経済振興部にふるさと納税戦略室を創設します。

ふるさと納税戦略室については、先ほども述べさせていただきましたとおり、今後の厳しい財政状況を見据え、ふるさと納税での寄附額増を目指すとともに、地域資源を活用した返礼品を開発・発掘し、市外へPRすることで地域経済の活性化にもつなげる専門部署として設置します。

そして、まちづくり市民センター及び各地区まちづくりセンターと公民館の名称が混在することがわかりにくいとの声が市民から多く寄せられている状況を踏まえ、まちづくり市民センターは中央公民館に、各地区まちづくりセンターはそれぞれ地区公民館に名称を一本化することとしました。この名称変更に合わせて市長部局からの公民館に対する補助執行は廃止しますが、地域におけるまちづくり事業は、市民活動支援課から名称変更する地域づくり推進課をはじめ、引き続き各部署が連携しながら支援してまいります。

以上のように、行財政改革に向けた様々な取り組みを行ってまいります。また、「改革」と「日々改善」を行いながら行政運営を進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《事業の概要等》

続きまして、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要について、ご説明申し上げます。

(暮らしやすく、生きがいのあるまち鹿嶋／多様性を理解し生きる)

○鹿嶋市子育て応援チケット事業

新型コロナウイルス感染症拡大が長期化する中で、食費等の物価高騰に直面する子育て世帯の経済的支援を図るために、市独自の事業として18歳までのお子さんのいる世帯を対象に、「鹿嶋市子育て応援チケット」の支給手続きを進めております。

鹿嶋市プレミアム付き商品券（地域応援チケット）の取り扱い店舗で使用できるチケットとして、児童1人あたり5,000円分を全ての子育て世帯に支給します。対象となる世帯には、11月中旬に申請案内をお送りしたほか、広報かしまや市ホームページ等でもお知らせしておりますので、手続きを行っていただき、ぜひご活用ください。

○公民館まつり等

9月から11月にかけて、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、市内各地区において住民体育祭や公民館まつり、芸術祭などが開催されました。様々な工夫を凝らして準備から事業運営を行うなど地域の方々が協力し合って取り組み、交流を深めている様子は、地域の賑わいを創出するとともに、地域の絆づくりそのものであると感じました。新型コロナウイルス感染症の影響もあると思いますが、今後も地域の特色ある事業を地域の皆様で創り上げ、更なる地域コミュ

ニティの充実につなげていていただきたいと思います。

○鹿嶋市二十歳のつどい

輝かしい新年を迎えた1月8日に、成人式の名称を改め「鹿嶋市二十歳のつどい」がカシマスポーツセンターで執り行われます。二十歳を迎える皆様が改めて成人として、また社会の一員としての新たな一歩を踏み出す契機となります。二十歳の皆様が築き上げていく未来が素晴らしいものとなるようご祈念申し上げます。

○まちづくり市民大会

まちづくり市民大会が来年2月5日に開催されます。3年ぶりとなる今回は、『地域の課題に寄り添う公民館（コミュニティプランを推進する「学びと実践活動」について考える）』をテーマに実施します。多くの市民、関係団体の皆様との意見交換や情報を共有することで、豊かで住みよいまちづくりが推進され、それぞれの地域づくり活動につながっていくことを期待しております。

（暮らしやすく、生きがいのあるまち鹿嶋／スポーツに親しみ健康に生きる）

○スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰

先月18日、本市は、スポーツ庁より「スポーツ・健康まちづくり優良自治体」として表彰されました。これは、令和3年11月に鹿嶋市、住友生命保険相互会社、株式会社PREVENT（プリベント）の3者によって締結された「鹿嶋市民のWell-beingに関する包括連携協定」に基づき、公民連携事業として取り組んできた「鹿嶋市MVM（エム・ブイ・エム）ヘルスケア事業」が受賞対象となったものです。

今後も、公民連携による健康づくり事業を展開することによって、心身の健康増進のみならず、地域コミュニティの形成を図り、市民の皆様が個人的にも、社会的にも充実した生活を送れる環境を整備してまいります。

○第1回鹿嶋バスケットボールフェスタ

東京オリンピック開催のレガシーの一つとして、2月11日にカシマスポーツセンターにおいて「鹿嶋バスケットボールフェスタ」を開催します。大会は、鹿嶋市スポーツ協会が主体となり、東京オリンピックの新種目であった「3x3（スリー・エックス・スリー）」を男女それぞれ小学生の部、中学生の部、オープン部の部の6部門で実施します。

今後も、本市でのオリンピック競技開催を一過性のイベントとすることなく、市民の皆様をはじめ各種関係団体の皆様と連携しながら、開催地である本市ならではの事業を展開してまいります。

(暮らしやすく、生きがいのあるまち鹿嶋／スマート&コンパクトな鹿嶋をつくる)

○都市計画道路・宮中佐田線

鹿嶋市の中心市街地を南北に縦断し、国道51号や国道124号などの広域幹線道路を結ぶ都市計画道路・宮中佐田線について、未整備となっていた佐田地内の区間が完成し、12月21日に全線開通する見込みとなりました。

本路線は茨城県の事業として整備している道路であり、宮中大橋から旧国道124号までの延長945mについては、平成29年に開通しておりましたが、その先となる現国道124号までの延長543mを東日本大震災の復興事業として整備してまいりました。

道路幅員22m、車道は4車線で整備され、市内における交通の利便性が向上するとともに、地域の活性化や災害時における安全安心の確保に寄与するものと考えております。

(行ってみたい、暮らしてみたい鹿嶋／環境未来都市・鹿嶋をつくる)

○第42回鹿嶋市花火大会

新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となった鹿嶋市花火大会が11月26日に北浦湖畔において実施されました。観光協会のご尽力のもと、多くの個人・事業所の協賛を得て、初冬の夜に打ち上げられた約1万発の花火に、開催を心待ちにしていた約8万人の観客から大きな歓声が湧きあがるなど、市民をはじめ多くの皆様楽しんでいただいたことと思います。

○鹿嶋市プレミアム付き商品券（地域応援チケット）事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内の事業者支援と各店舗等のデジタル化の推進を図ることを目的として鹿嶋市プレミアム付き商品券（地域応援チケット）をデジタル商品券と紙商品券の2種類で販売いたしました。約300店舗の登録があり、多くの市民の皆様にご利用いただいているところです。

デジタル商品券については、1次販売で若干の余裕が出ているため、12月上旬に2次販売を予定しております。対象を在勤者・在学者まで拡大して実施することいたしましたので、多くの皆様にご利用いただきたいと思っております。

(次世代も輝く雇用のある鹿嶋／環境未来都市・鹿嶋をつくる)

○洋上風力発電

洋上風力関連産業の拠点形成等による地域振興策を示す「鹿嶋市洋上風力発電事業推進ビジョン」について、今年1月から、産官学からなる策定委員会を組織し、作業を進めてまいりましたが、10月18日に行った第4回策定委員会において、

ビジョンの最終案を承認いただきました。

11月には市民の皆様から広くご意見を伺うパブリックコメントを実施し、その意見を踏まえて、現在、庁内での最終事務手続きを進めているところです。今月中旬には完了し、広く県内外に発信してまいります。

今後は、カーボンニュートラルの実現と地域経済の活性化に向け、策定したビジョンをベースとして、鹿島港を中心としたこの地域における洋上風力関連産業をはじめとした新たな産業の拠点形成と地域との共生を目指してまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が8件、条例関係議案が9件、その他の議案1件の合わせて18件であります。

予算関係議案は、令和4年度の一般会計及び特別会計などの補正予算であります。一般会計補正予算については、教育・保育施設入所支援事業や新型コロナウイルスワクチン接種経費、ごみ処理施設管理経費などの補正であります。

国民健康保険特別会計補正予算については、保険給付費や諸支出金などの補正であります。

後期高齢者医療特別会計補正予算については、後期高齢者医療広域連合納付金や諸支出金の補正であります。

介護保険特別会計補正予算については、保険給付費や積立金などの補正であります。

農業集落排水特別会計補正予算については、農業集落排水費の補正であります。

公共料金等集合支払特別会計補正予算については、集合支払費の補正であります。

下水道事業会計補正予算については、電気料の高騰などによる営業費用並びに工事などに伴う建設改良費の補正であります。

水道会計補正予算については、電気料の高騰などによる営業費用並びに工事などに伴う建設改良費の補正であります。

条例関係議案は、新たに制定するものが1件、改正するものが8件であります。

新たに制定する条例は、「鹿嶋市農業集落排水事業の設置等に関する条例」であり、改正する条例は、「鹿嶋市議会議員及び鹿嶋市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例及び鹿嶋市議会議員及び鹿嶋市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例」などであります。

その他の議案は、「損害賠償の額を定め、和解することについて」であります。

私の説明は以上で終わりますが、予算以外の議案については、担当の総務部長から補足説明をいたします。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。